

大阪湾を眼下におさめる
泉州のあじさい寺



別名「泉州のあじさい寺」と呼ばれる長慶寺は見頃の時期にはあじさいの花が一齐に咲き誇り、参拝者の目を楽しませている。桜、藤棚、つつじ、さつき、もみじなど自然の風情を一年を通して楽しむことから、遠方からの参拝者も多い



真言宗

金泉山 長慶寺

こんせんざん ちょうけいじ

- ・和泉西国三十三カ所第二十八番札所
- ・南海沿線七福神第五番福祿寿札所
- ・ほげよけ地藏尊二十四霊場第二十三番霊場

神亀年間(724年頃)行基菩薩によって開創された長慶寺。御本尊は60年に一度ご開帳される行基菩薩御自作の秘仏如意輪観世音菩薩像。岸和田城主岡部行隆公始め歴代岡部公の祈願所となり隆昌する。その後、明治の廃仏毀釈の影響で荒廃するが、近年本堂、客殿の大修理や多宝塔の建立、和泉西国二十八番や南海沿線七福神福祿寿など霊場となったこと、そしてあじさいの名所としても広く知られたことで再び多くの巡礼者や観光客が訪れる活気溢れるお寺となっている。

1・三重塔(左)と孔雀明王をお祭りする装胎(もこし)付三重塔(右)が揃い踏みする姿は圧巻 2・5月下旬から6月いっぱいまでが見頃。約2000株、10種類以上の色とりどりのあじさいは目にも鮮やか。毎年楽しみにしている人が多い人気スポット 3・朱塗りが美しい三重塔には金剛界大日如来像が祀られている



山門へと続く階段は霊場百体仏にちなんで百段。毎朝6時からの動行は自由参加で一般にも開かれた寺院である



☎ 072-483-2692

住 泉南市信達市場815

時 9:00~17:00

料 無料

朱 300円~

P 100台以上

交 JR阪和線「和泉砂川」駅より徒歩10分

